

路地” 路地×アート はまちをどう変えるか

東北建築フォーラム25周年記念「パネルディスカッション」

路地や横丁は人々の営みやまちの文化が染みついたスローな日常空間として存在しています。近年、そんな路地や横丁空間を活かした様々な私たちのアートイベントが全国的にみられており、地域のまちづくりにインパクトを与えています。

このパネルディスカッションでは、「路地×アート」の先進的な取り組みである東京・向島学会／谷中芸展、大阪・からほりまちアート、せんだい横丁等を紹介し、「路地×アート」が生み出す何かについて討論していきます。

- 【パネラー】
- 真野 洋介 (東京工業大学)：向島学会
 - 松富 謙一 (CASEまちづくり研究所)：からほりまちアート
 - 山田 絵美 (ハウジングアンドコミュニティ財団)：谷中・芸展
 - 田澤 紘子 (仙台市市民文化事業団)：せんだい横丁クルージング
 - 新井 信幸 (東北工業大学)：司会進行

プログラム：事例報告(4題)、ディスカッション、会場との意見交換
 参加費：無料・先着順120名(申込不要)
 問合先：東北工業大学工学部建築学科サポートセンター
 022-305-3635



主催：東北工業大学工学部建築学科
 後援：(財)ハウジングアンドコミュニティ財団、(財)仙台市市民文化事業団
 (社)日本建築学会東北支部、新建築家技術者集団宮城支部
 協力：宮城県美術館

同時企画パネル展示「路地×アート」はまちをどう変えるか

2010年10月29日(金)～11月3日(水)
 10:00～20:00 (最終日10:00～19:00)
 会場：東北工業大学・一番町ロビー1Fギャラリー
 入場料：無料

2010年11月2日(火)
 18:30～20:45
 (開場18:10)
 せんだいメディアテーク
 7F スタジオシアター

